

吉野熊野国立公園

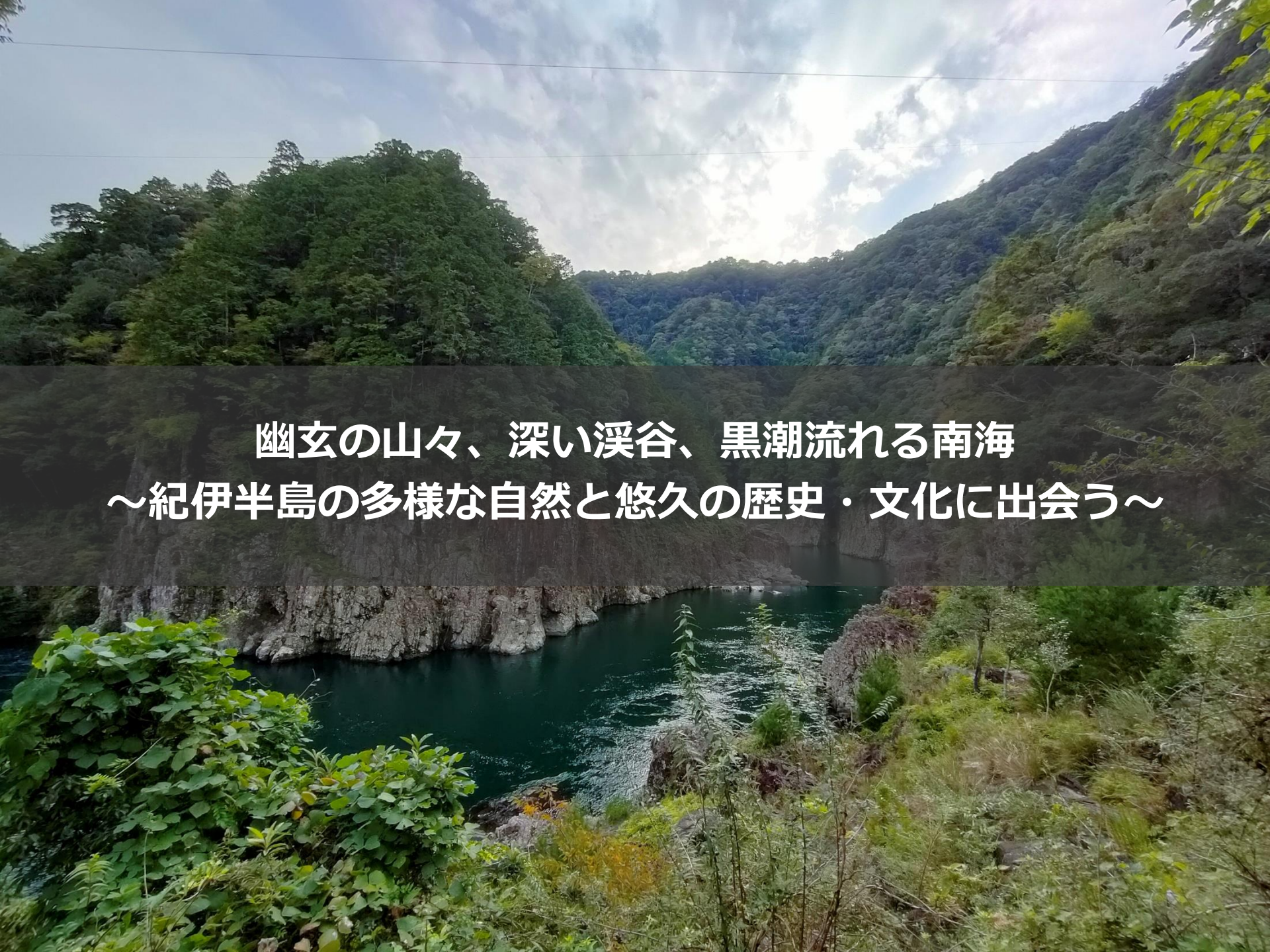
(熊野灘・熊野川・那智地域)
公園区域及び公園計画の変更
(第4次点検)

ご説明の流れ

1. 吉野熊野国立公園について
2. 今回変更(第4次点検)について
3. パブリックコメントの対応について

ご説明の流れ

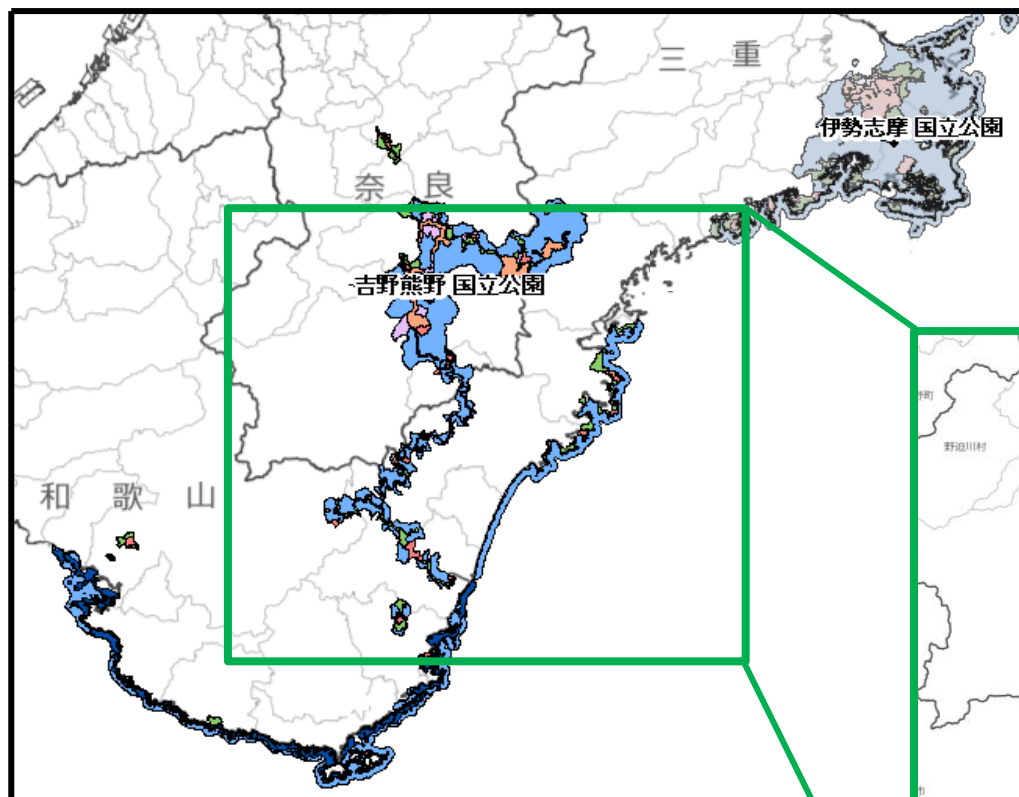
1. 吉野熊野国立公園について
2. 今回変更(第4次点検)について
3. パブリックコメントの対応について



幽玄の山々、深い溪谷、黒潮流れる南海
～紀伊半島の多様な自然と悠久の歴史・文化に出会う～

吉野熊野国立公園（熊野灘・熊野川・那智地域）の概要

- 指定：昭和11年2月1日（吉野熊野国立公園）
- 面積：93,170ha（うち、61,406haが陸域）

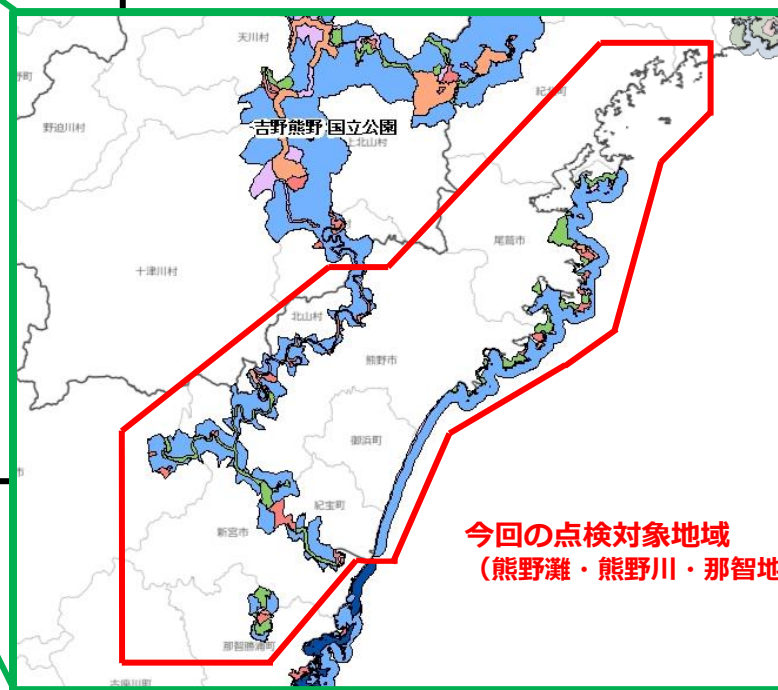


●見直しの経緯

昭和11年	吉野熊野国立公園指定
昭和63年	再検討
平成9年	第1次点検
平成18年	第2次点検
平成27年	第3次点検（和歌山県海岸地域）

●風景形式

海洋プレートが大陸プレートの下に沈み込む場所での大地の形成過程を示す特徴的な地質現象に起因する変化に富んだ山岳、河川、海岸の連続的かつ大規模な景観



今回の点検対象地域
（熊野灘・熊野川・那智地域）

ご説明の流れ

1. 吉野熊野国立公園について
2. 今回変更(第4次点検)について
3. パブリックコメントの対応について

今回変更のポイント

本公園のうち熊野灘・熊野川・那智地域の公園計画について平成18年の第2次点検以降の自然的・社会的状況を踏まえ、風致景観の保全及び適正な利用を図るとともに、海域の自然環境保全を一層推進するため、公園計画の点検（第4次点検）を実施。

●基本方針の一部変更

- ✓ 自然的・社会的状況を踏まえた一部文言の修正

●公園区域・規制計画の変更

- ✓ **海域の区域拡張**（3箇所、2,559ha）
 - ・ 三重県度会郡大紀町～尾鷲市島勝浦までの海域の一部
- ✓ **海域公園地区の追加**（新規指定7箇所・979ha、**拡張**2箇所・193ha(+14.5ha))
- ✓ **陸域の区域拡張、地種区分の変更**
 - ・ 海域公園地区拡張地域周辺の島しょ及び陸域、大雲取山周辺の区域拡張
 - ・ 三木崎、大雲取山周辺の地種区分の変更
- ✓ 区域等の明確化
 - ・ 全域において公園区域線や地種区分線の明確化や適正化

●事業計画の見直し

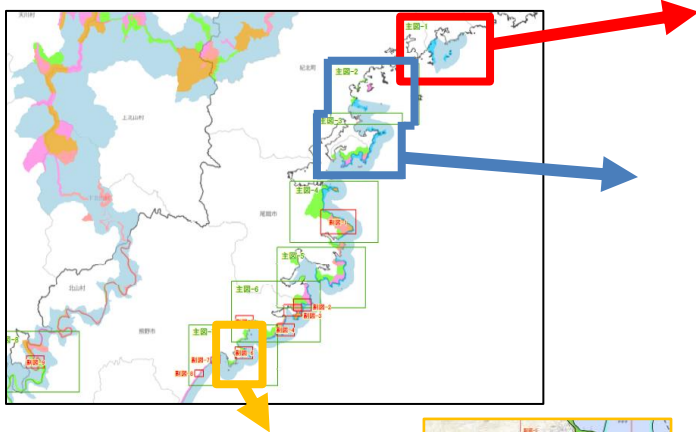
- ・ 車道計画の路線変更

①公園区域・規制計画の変更

●海域の区域拡張

●周辺の島嶼及び陸域の区域拡張

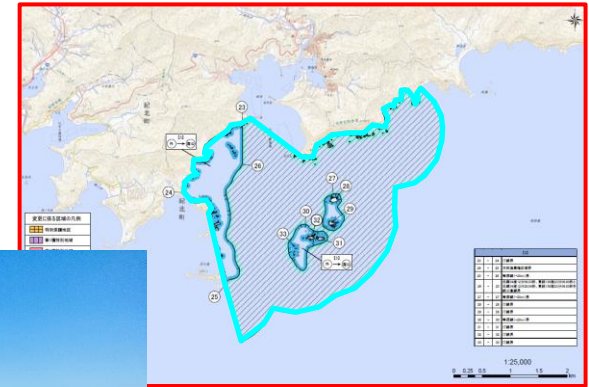
海洋生物の産卵や育成に欠かせない生息域として、海洋の生態系や生物多様性、漁業生産性の根幹を支える重要な存在である海域及びその周辺島嶼及び陸域を国立公園に編入する。



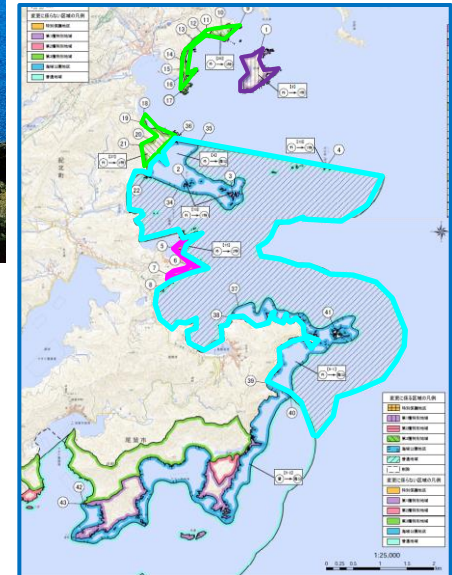
●旧波田須漁港区域



●三重県大紀町地先



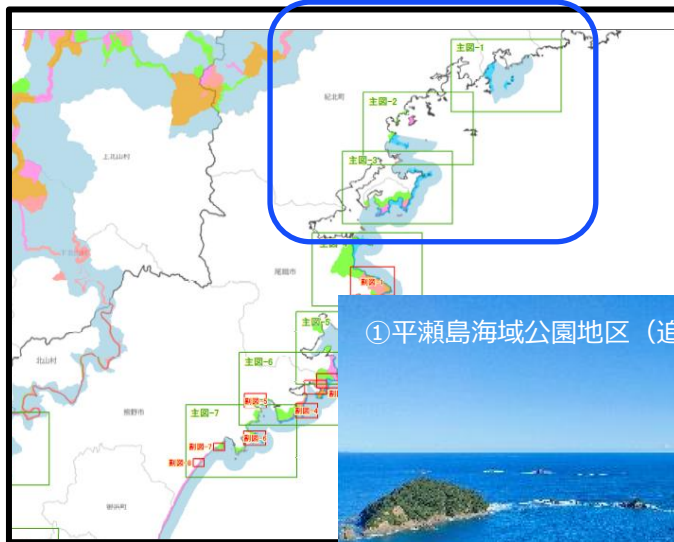
●三重県紀北町地先



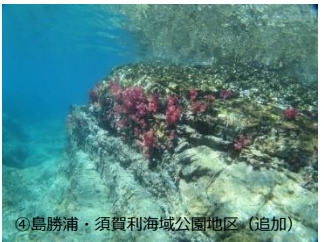
①公園区域・規制計画の変更

●海域公園地区の追加

藻場、岩礁域、サンゴ群集域、特徴的な海底地形等、優れた海域景観や海域の生物多様性を維持する必要がある海域を海域公園地区として指定する。



①平瀬島海域公園地区 (追加)



④島勝浦・須賀利海域公園地区 (追加)

③オドナ岩・ダイヤ岩海域公園地区 (追加)

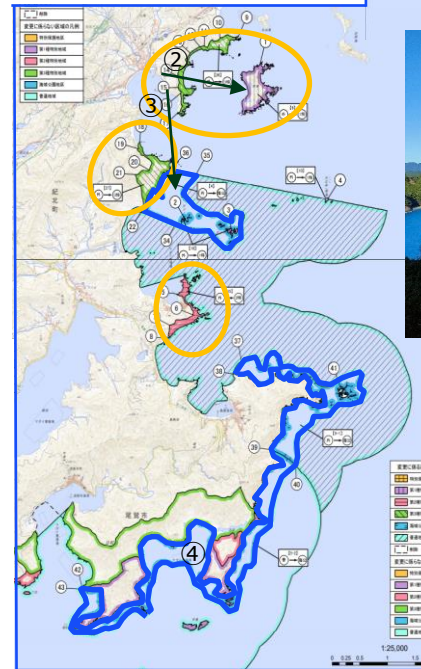


②陸域の編入エリア (鈴島及びその対岸)



鈴島 (1特)

高塚山展望台前 (3特)



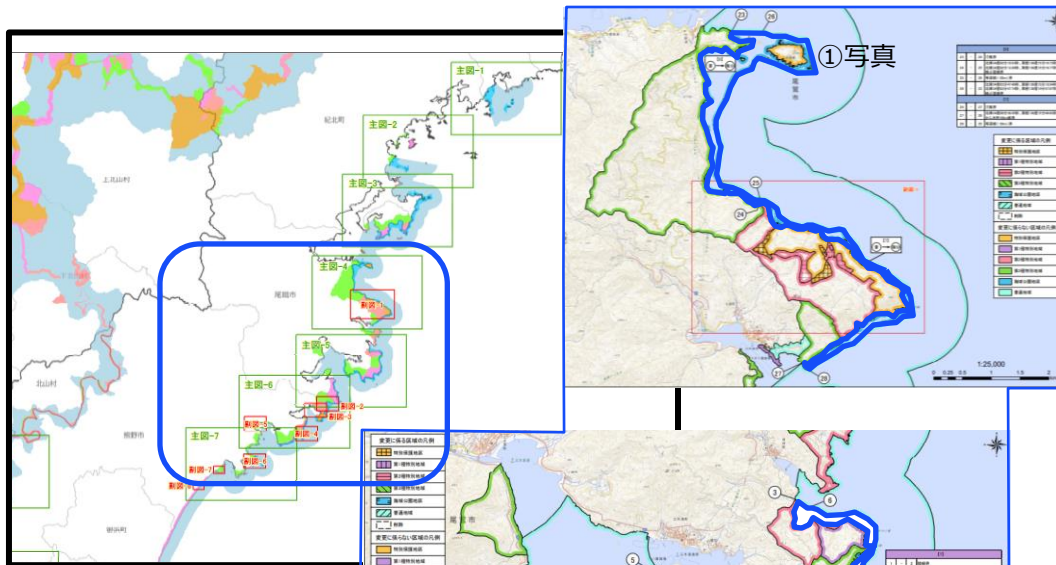
■鈴島

紀北町三浦に位置する無人島。島内には原生性の高い暖地性照葉樹林が発達。高塚山展望台からの眺望は特に秀逸。

●周辺の島嶼及び陸域の編入

海域公園地区の追加箇所とともに、一体となって優れた海域の風致を構成する周辺の島嶼及び陸域を公園区域に編入。

①公園区域・規制計画の変更



■神須ノ鼻・須野 (3特→1特)
 林齢70~90年のシイ・カシ二次林。海岸部には海食崖等で構成される自然海岸が分布し、後背地の森林と共に優れた海岸の風致を呈している。

■三木崎 (2特→1特)
 林齢50~70年のシイ・カシ二次林。海岸部はゴロタ石の浜や柱状節理が連続しており、後背地の森林と共に、優れた海岸の風致を呈している。



①行野浦海域公園地区 (追加)



③写真

区域の拡張により、海域景観の一層の保全に資する

- ・ **海域の区域拡張 (+2,559ha)**
- ・ **海域公園地区の追加 (+993.5ha)**

③カイトロー鼻・鈴置島海域公園地区 (追加)

①公園区域・規制計画の変更

●陸域の区域拡張（大雲取山周辺）

大雲取山から烏帽子山にかけての森林地域について、以下により既存の公園区域と一体的に風致の維持を図るため、公園区域に編入する。



帽子岩から見た新2特（手前の山）
・新1特（奥の山）



帽子岩からみた那智方面
（手前の山々が普通 → 3特へ変更）

■大雲取山（外→1特）

林齢約80年生の天然生林がまとまって分布し、アカガシ、ウラジロガシ等の照葉樹を中心に、温帯性針葉樹であるモミ・ツガの大木が点在する。熊野川の支流である高田川が流れており、三ノ滝を始めとする溪谷が、周囲の天然生林と相まって美しい風致を構成している。レッドリスト掲載種の生息域として重要。

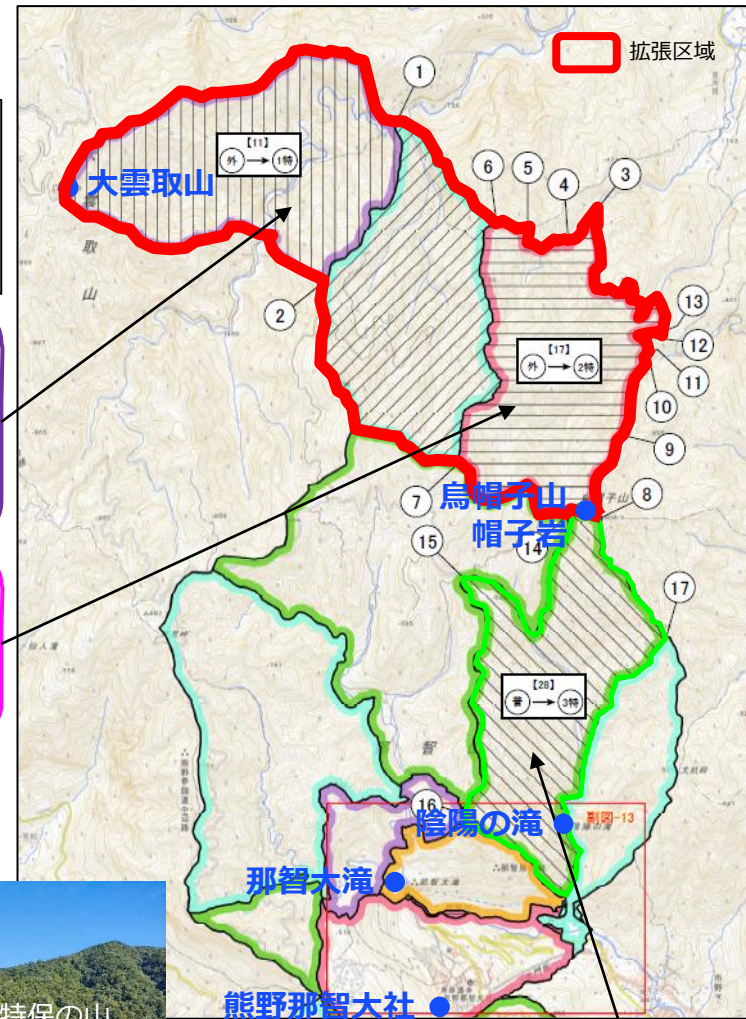
■烏帽子山北部（外→2特）

林齢約110年生のスギ人工林及び林齢80年生前後の天然生林が分布している。烏帽子山山頂付近の帽子岩からは那智方面が一望でき、周囲の森林と相まって良好な景観を形成している。各種行為と調整しつつ良好な風致の維持を図る。



那智大滝

特保の山
（既存）



■那智山北部（普→3特）

那智山東側の、烏帽子山から陰陽の滝にかけての森林地域。烏帽子山南側の区域には、林齢120年生以上の天然生林が分布し、陰陽の滝周辺はホルトノキ、イスノキ、イチイガシを交えるツブラジイ林が、その他のエリアは主に人工林が分布する。各種行為と調整しつつ風致の維持を図る。

②利用施設計画等の見直し

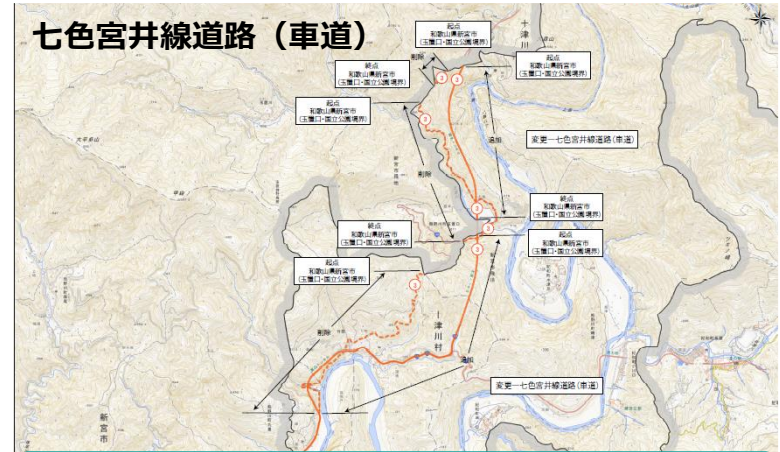
●車道計画の変更



- ・七色宮井線道路（車道）
- ・新宮本宮線道路（車道）

カーブが多く狭隘な道路を直線化・広幅化するための橋梁及びトンネルが設置されたが、連絡車道としての機能向上により公園利用者の利便性向上が図られることから、当該路線を車道事業とするもの。路線変更に伴い、公園区域を出入りする路線について起点・終点の変更を行う。

七色宮井線道路（車道）



■七色宮井線 整備方針 ※変更なし
 渓谷を探勝する車道及び山岳部と海岸部を結ぶ連絡車道として整備する。

新宮本宮線道路（車道）



■新宮本宮線 整備方針 ※変更なし
 新宮より熊野川沿いを経て本宮へ至る車道として整備する。

ご説明の流れ

1. 吉野熊野国立公園について
2. 今回の変更(第4次点検)について
3. パブリックコメントの対応について

パブリックコメントの実施結果

■ 概要

- ・ 実施期間 令和4年7月12日（火）から8月1日（月）
- ・ 意見募集の結果 【意見提出数】

電子メールによるもの	計1通
郵送によるもの	計0通
FAXによるもの	計0通
今回の変更案にかかるもの	計0件